

MONTHLY

神變別冊

宗派だより

令和6年8月号

醍醐寺開創

150年

令和六年八月六日発行
發行所 真言宗醍醐派宗務本庁
京都市伏見区
醍醐東大路町二十二

電話 〇七五―五七―一〇〇〇二

FAX 〇七五―五七―一〇〇〇一

今月の掲載内容

- ・ 孟蘭盆会に於ける日本での盆の精霊行事と風習を思う時
- ・ 録事
- ・ 宗派だより
- ・ 末寺・教会・醍醐寺だより
- ・ 本庁からのお知らせ
- ・ 醍醐寺からのお知らせ

3 3 3 2 1

孟蘭盆会に於ける日本での

盆の精霊行事と風習を思う時

百日鬼 幸秀

八月はお盆を迎え（地域によっては七月）各寺院は多忙の季節です。日本に於けるお盆の行事は地方様々です。

日本に於けるお盆（孟蘭盆会）の歴史は齊明天皇三年（六五七）に須弥山の像を飛鳥寺の西につくって孟蘭盆会を設けたと『日本書紀』に記されていることから、それが最初であります。日本の民衆のあいだで、お盆の風習が広まったのは、江戸時代になってからと言われていますが、現在の京都でのお盆はどの様なものでしょうか？

京都のお盆は八月七日から十日までの精霊迎えに始まります。これを「お精霊さん」とか「六道まいり」と呼んでいます。京都では東山の六道珍皇寺と千本ゑんま堂の二か所で「六道の辻」所謂この世とあの世がつながる場所とされ、京都の人々はお寺へお参りに行き「迎え鐘」について経木塔婆に水をかけてお精霊を迎えるのです。醍醐寺の万灯会でも多くの参拝者が訪れ、同じように鐘を打ち経木塔婆に水をかけてお盆の精霊をお迎えしています。お盆は八月十三日から十五日にご先祖様

が各家に帰られ、十六日の朝に「追い出しアラメ」荒布を炊いてお供えしてからゆで汁を門口に撒く風習をもって浄土にお帰り頂き、五山の送り火にて京都のお盆が終わりとなります。

お盆中の御供物は馬に乗って早く帰ってきてくださいとの思いできゅうりと、お帰りの時は牛に乗りゆつくりお帰りにくださいの意味で茄子、御土産として素麺を供えます。御霊供は精進でダシも昆布と乾物の椎茸で、「お精霊さんは薄味で柔らかくさっぱりしたもの」と各家々で伝えられています。

醍醐寺の孟蘭盆会は毎年七月十三日から十五日に行われ、歴代先師の肖像の軸が三寶院弥勒堂に奉られて多くの供物が供えられ、孟蘭盆会中は毎日理趣三昧が営まれます。日本全国のお盆の行事の風習は様々ですが、日本のお盆は夏休みとなつてしまいい、お盆の行事が忘れられている現状です。今一度寺院では先師、各家庭ではご先祖様に想いを馳せる心が大切であり、その風習を伝え続けて未来までこのお盆の行事が続くことを願うのであります。

醍醐寺開創千五十年慶讃大法要

令和六年

十一月十四日(木)

開白
鎮守法楽大般若転読法要 下醍醐・清瀧宮拝殿
午前十時
堅義会平座理趣三昧法要 下醍醐・金堂
午後二時
堅義会(華嚴宗大本山東大寺) 下醍醐・金堂

午後一時
如意輪観世音供並醍醐寺第一世観賢大徳
千百年忌平座理趣三昧法要

午後二時
柴燈大護摩供 上醍醐・開山堂
上醍醐・開山堂
柴燈大護摩道場

十一月十五日(金)

午前十時
惠印三昧耶法要 下醍醐・金堂
午後二時
開山理源大師報恩謝徳平座理趣三昧法要 下醍醐・祖師堂

十一月十六日(土)

午前九時
中日
庭儀舞楽大曼荼羅供法要 下醍醐・金堂
宗内功労者表彰式 下醍醐・金堂

十一月十七日(日)

午前十一時
慶讃法要(真如苑) 下醍醐・金堂
※真如苑様による法要でございます。決められた方のみの参列となります。

十一月十八日(月)

午前九時
結願
鎮守法楽 神祇講式 下醍醐・清瀧宮拝殿
午前十一時
准胝観世音供並中興准三后義演座主四百回忌
第二百二世座主文雄大僧正十三回忌中曲理趣三昧法要 下醍醐・金堂

午後二時
柴燈大護摩供 下醍醐・柴燈護摩道場
※右記予定は変更となる場合がございます。

録事

▼宗務所移動

四月一日
任美作宗務所所長

金龍寺

中井 宏昌

▼教師補任

本宗籍

四月二十八日

大律師

五月二十五日

律師

五月二十八日

中僧都

佐賀

松尾

宗祥

福岡

柳田

妙順

熊本

日隈

浄道

▼住職・主管者任命

五月二十八日

山口

六月一日

奈良

六月八日

三重

光福寺

山本

浩裕

教弘寺

藤原

昭善

誠光寺

松井

隆聖

▼住職・主管者退任

五月二十八日

山口

六月一日

奈良

光福寺

渡邊

恵弘

教弘寺

藤原

豊善

▼責任役員任命

五月二十八日

山口

六月五日

群馬

光福寺

浅原カヨコ

中村三枝子

光樹院三宝金剛教会

仲田 順英

田中 省三

三河西部

観音院

吉岡 献太郎

京都

縁起不動院

木俣 雄己

六月八日

三重

誠光寺

飯田 俊治

▼総代委嘱

五月二十八日

山口

光福寺

浅原 義人

六月五日

三河西部

観音院

山下 正紀

京都

縁起不動院

森 幸夫

大阪

金剛寺

池上 健一郎

六月八日

三重

誠光寺

植村 博次

六月十七日

新潟

国分寺

松本 真一郎

▼褒賞下付

四月二十八日

三河東部

不動院

鈴木 通博

▼承認・証明

六月十日

宮崎

光明院

小嶋 榮一

六月十一日

新潟

金澤

泰栄

六月十二日

東京(直)

大行院

僧籍復籍承認の件

《お知らせ》

文化庁主催による「令和六年度・宗教法人実務研修会」が、九月以降に各地区で開催の予定がされています。詳細は、文化庁ホームページ「宗教法人実務研修会」をご覧ください。お申し込みは、開催県へお問い合わせください。

醍醐寺国宝展 Daigoji Temple and its National Treasures



会期：2024年6月15日(土)～8月25日(日)
休館日：月曜日、7/23日(火)
※7/15(月・祝)、8/12(月・祝)は開館
会場：大阪中之島美術館 4階展示室
時間：10:00～17:00(入場は16:30まで)
<https://nakka-art.jp/exhibition-post/daigoji-2024/>

宗派だより

『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議 第一回第一連絡会

令和六年五月八日(水) 午後一時 下京いきいき市民活動センター二階
テーマ…「部落差別問題」旧柳原銀行見学、京都駅・崇仁地区フィールドワーク
講師…崇仁発信実行委員会理事 坂田良久氏
出 席…本山二名

真言宗各派総大本山会 令和六年度人権推進講習会

令和六年六月四日(火) 午後一時三十分 真言宗智山派宗務本庁
演題…「世界はもつと豊かだし、人はもつと優しい」
講師…映画監督・作家 森達也氏

部落解放同盟 第四十九回部落解放・人権西日本夏期講座

令和六年六月十三日(木) 六月十四日(金)
会場…大分 別府国際コンベンションセンター・ビーコンプラザ
出席…醍醐派参加者 西内克修
出 席…醍醐派参加者 西内克修

真言宗醍醐派 愛媛宗務所 講習会

令和六年六月二十一日(金) 愛媛 オールドイングランド道後 山の手ホテル
講師…「真言宗醍醐派」規則・宗制の概要について
講師派遣…大原弘敬宗務総長

親授式

令和六年六月二十九日(土) 午前十一時 三宝院本堂
三重県 誠光寺 松井隆聖師 奈良県 教弘寺 藤原昭善師
山口県 光福寺 山本浩裕師

末寺・教会・醍醐寺だより

第百四十四回三宝院門跡 大峯山花供入峰

令和六年六月六日(木) 大坂報恩院法楽・大坂練行・四天王寺柴燈護摩・
令和六年六月七日(金) 大坂練行 龍泉寺柴燈護摩

令和六年六月八日(土) 大峯山小篠根本道場柴燈護摩・山上辻堂柴燈護摩
稲村大日岳法楽・清浄大橋柴燈護摩

弘法大師降誕会

令和六年六月九日(日) 鳳閣寺柴燈護摩・吉野金峯山寺参拝・駒出護摩
令和六年六月十五日(土) 午前十時 平座理趣三昧 伽藍 祖師堂

ほたる鑑賞会

令和六年六月二十二日(土) 憲深林苑
醍醐寺 国宝展 令和六年六月十五日(土) 八月二十五日(日) 大阪中之島美術館

醍醐寺文化財仏像調査

令和六年六月二十二日(土) 六月二十三日(日) 霊宝館ほか
副島弘道氏 久保田綾氏

桜守 伝達式 令和六年六月二十九日(土) 午前十一時 三宝院本堂
總本山醍醐寺 桜守 京都府 吉野裕仁氏 (樋口造園株式会社勤務)

本庁からのお知らせ

総務部より

宗教法人の寺院・教会は、毎年会計年度終了後四月以内に役員名簿と財産目録の写しを所轄庁(都道府県庁)に提出することとなっております(『宗教法人法』第二十五条第四項)。この他にも、収支計算書、貸借対照表、境内建物に関する書類、事業に関する書類

の写しの提出が必要となる場合があります(詳細は、真言宗醍醐派宗務本庁ホームページ又は、文化庁ホームページ参照)。
宗務本庁では、これらの書類の写しを本庁にも提出いただくことを、宗教法人並びに非宗教法人の寺院・教会にお願いいたしております。
また、寺院・教会は、適切な運営のため、当該寺院・教会規則に基づき、責任役員及び総代を置かなければなりません。責任役員・総代に欠員が生じた場合、任期満了になられた場合には、速やかに申請を行ってくださいますようお願いいたします。

財務部より

本年の宗費賦課金銀行引落日は、八月二十七日(火)となります。
お早めに引落日の残高確認をお願いいたします。

※教師個人の宗費賦課金のみ対象となります。口座引落をご希望の方は、本庁財務部までお問い合わせください。
※宗費賦課金、醍醐寺開創千五百年慶讃事業義納金をはじめ各種お支払いに関するお問い合わせは、宗務本庁財務部までお尋ねください。

教学部より

教学研修会 「平安後期から南北朝前期に至る醍醐寺法流史」
令和六年八月三十日(金) 午後一時三十分 醍醐寺研修棟

講師…京都 柴田賢龍師
理性院流許可灌頂および『太元護摩 付息災』伝授
令和六年九月八日(日)、同年九月九日(月) ※いずれかの日を選択

伝授大阿闍梨…醍醐寺座主 壁瀬宥雅 大僧正
修験伝法教校
令和六年十月十一日(金) 十月十五日(火)

醍醐寺オーブンテンプル
「IDAY」こころの修行体験」
令和六年八月二十四日(土)、同年十一月三十日(土)、令和七年三月八日(土)、同年五月十日(土)

醍醐寺からのお知らせ

豊国忌

令和六年九月十八日(水)
醍醐寺開創千五百年慶讃大法要
令和六年十一月十四日(木) 十一月十八日(月)

※法要の詳細および参座のご案内については、決まり次第別途お知らせいたします。

伝授開庭告知

醍醐寺では本年秋季に左記の伝授の開庭を予定しております。

○理性院流 太元護摩 付息災 伝授 九月に開庭予定
伝授大阿闍梨 醍醐寺座主・三宝院門跡 壁瀬宥雅 大僧正 猊下
日程などの詳細はあらためてご連絡いたします。

○梵字悉曇伝授 坂井榮信 悉曇阿闍梨 相承
澄祥流梵字・智満流梵字伝授・悉曇灌頂
第一会十月一日、二日開庭(全十二会予定)

伝授悉曇阿闍梨 種智院大学副学長 児玉義隆 僧正
※約三年を予定し、悉曇灌頂を開壇します。

※講義はオンライン配信も予定しております。



お申し込みは
こちらから→

<p style="text-align: center;">和光印刷株式会社</p> <p>〒602-0012 京都市上京区烏丸通上御霊前上ル TEL (075) 441-5408 FAX (075) 441-4982 E-mail info@wako-print.co.jp</p>	<p style="text-align: center;">杉本権七法衣店</p> <p>〒600-18304 京都市下京区新町通六条下ル TEL (075) 351-2890 FAX (075) 341-6774</p>	<p style="text-align: center;">山城屋文政堂 藤井佐兵衛</p> <p>〒600-18029 京都市下京区寺町通五条上ル TEL (075) 351-9363 FAX (075) 343-5500 http://yamasa-bunseido.com</p>	<p style="text-align: center;">大住法衣店</p> <p>〒604-18274 京都市中京区小川通三条上ル西堂町 TEL (075) 221-3087 FAX (075) 221-3038 E-mail oosumihoi@gmail.com</p>
<p style="text-align: center;">大峯山陀羅尼助丸 花谷神変堂</p> <p>〒638-10431 奈良県吉野郡天川村洞川235 TEL (0747) 64-0047 FAX (0747) 64-0070</p>	<p style="text-align: center;">林勘法衣店</p> <p>〒602-10874 京都市上京区河原町丸太町 西筋下ル東土御門町345 TEL (075) 231-2244 FAX (075) 255-6632 E-mail hayashikan@beachoc.ne.jp</p>	<p style="text-align: center;">法衣・仏具製造及び販売</p>  <p style="text-align: center;">井筒法衣店</p> <p>600-8468 京都市下京区堀川通新花屋町角(西本願寺前) Tel 075-365-0001 0120-075-730 Fax 075-353-7021</p> <p style="text-align: center;">オンラインショップは こちらから →</p> 	<p style="text-align: center;">田中伊雅佛具店</p> <p>〒600-18453 京都市下京区万寿寺西洞院東入ル TEL (075) 351-2584 FAX (075) 341-8822 http://www.tanakaiga.com</p>
<p style="text-align: center;">松栄堂</p> <p>〒604-10857 京都市中京区烏丸通二条上ル東側 TEL (075) 212-5590 https://www.shoyeido.co.jp</p>	<p style="text-align: center;">今井半念珠店</p> <p>〒605-10934 京都市東山区大黒町通正面南入 TEL (075) 561-0307 FAX (075) 525-2557</p>	<p style="text-align: center;">上田法衣佛具店</p> <p>〒604-10913 京都市中京区河原町二条西入上ル TEL (075) 221-3348 FAX (075) 211-1858</p>	<p style="text-align: center;">土山印刷株式会社</p> <p>〒601-18308 京都市南区吉祥院向田東町14 TEL (075) 312-1132 FAX (075) 313-8521 www.tsuchiyama.co.jp</p>



醍醐寺開創1150年慶讃事業義納金について

今般の義納金は、醍醐寺開創以来1150年に亘って受け継がれてきた法流伝承の象徴として「法流の杜」を整備するための大切なものです。

詳細はお手元のパンフレットをご確認いただき、是非お早目の納入をお願いいたします。

ご不明点は宗務本庁までお問い合わせください。

[お問い合わせ] 宗務本庁 TEL : 075-571-0002

真言宗醍醐派公式ホームページのURLは、
<https://www.daigo.ne.jp/> です。

宗派内ページ（ログインが必要*）からは、所轄庁提出書類（収支計算書、財産目録、境内建物に関する書類）のひな型や責任役員、総代任命などに関する書類、僧階昇補、住所変更等に関する書類などがダウンロードできます。また、寺院・教会名簿なども閲覧できますので、是非ご活用ください。

*宗派内ページへのログインパスワードは、shoubou1145 です。